

おかげさまで26周年。ロングセラー不動産情報誌

沖縄の不動産情報誌  
賃貸・売買・競売物件情報

# すまいすむ 住ism

月2回発行 10日・25日

2012  
2月25日号

¥150本体価格  
143円

物件特集  
Vol.1  
**新生活!  
応援**

巻頭特集シリーズ  
こだわりの家訪問 vol.193

4世代で暮らす  
二世帯住宅

住ism読者プレゼント

## 暮らしの お役立ち情報

- 引越しのワンポイントアドバイス
- 沖縄県ローンセンター窓口一覧
- 沖縄振興開発金融公庫融資案内

チャレンジ  
25  
競売物件情報  
競売物件の基礎知識  
土地/一戸建/マンション

すまいすむ

検索

sumaim.net







巻頭特集シリーズ こだわりの家訪問

2012. February

vol. 193

## 4世代で暮らす 二世帯住宅

text: Planning Office Moduln photographs: MYabuku

家族構成: 母、夫婦、娘、息子夫婦、孫2人 所在地: 沖縄市  
設計: 一級建築士事務所Simple 赤堀しげたか  
敷地面積: 487.20㎡(147.38坪) 建築面積: 171.46㎡(51.87坪) 延床面積: 228.63㎡(69.16坪)  
用途地域: 未指定 構造: 鉄筋コンクリート造2階建て 完成時期: 2010年3月  
【施工業者】●建築/(有)仲良田 ●電気/(有)セブツ電設 ●水道/(有)大塚設備工業 ●キッチン/(有)CASA

Cさんは築40年以上の実家を、快適な二世帯住宅に建て替えました。実家の面影をさりげなく残した住まいに、家族の新しい歴史が刻まれています。



## 築40年以上の実家を建て替える

沖縄市のCさん宅は、4世代8人で暮らす二世帯住宅です。もともとこの場所には、本土復帰から間もない頃に建てたCさんの実家がありました。当時としてはモダンな造りで、Cさんを含む4人兄弟それぞれの個室やマチャグラー(雑貨店)も構えていたそうです。月日は流れ、Cさんは結婚して実家で両親と同居。1男1女に恵まれました。「子どもたちの成長に伴い部屋が必要になったので、庭の一角にプレハブを建て、私たち夫婦がそこに18年住んでいました。その間に父は他界し、店舗だった部屋はシャッターを閉め切ったまま。母屋には娘と高齢の母だけでしたので防犯面も心配でした」と話すCさん夫妻は、息子さんに二世帯住宅に建て替える話を持ちかけました。ある朝、Cさんは住宅情報紙の広告に載っていた建築士のコメント文に引かれ、すぐにその設計事務所に出向いたそうです。「建て替えるなら木造住宅をと考えていたのですが、それにこだわるよりも家族全員の思いを形にしてもらいたい。この人なら実現してくれると直感したんです」とCさんは振り返ります。その後、建築士と綿密な打ち合わせを重ねて、家族全員が納得できるプランが決定し、念願の二世帯住宅が完成しました。







1. 広々キッチン 2,3. 目隠しとエアコン効率を考えたづくり  
4. 明るい色調の子供部屋



## 両世帯をつなぐ雨端型の玄関

1階の親世帯は、二間続きの和室と居間を中心にして家族4人それぞれの部屋を配置。キッチンの裏手に大きなストックルームを設けていますが、コンパクトな裏動線や多目的のデッキもあわせて確保しているので、キッチン周りの明るさや使い勝手は抜群です。また建築士が考案した雨端型の玄関を、おもてなしの場でもある仏間や2階子世帯の階段とつなげ、お盆や正月などの来客の多い時や子世帯との交流に役立っています。「子どもたちが親世帯と自由に行き来できる上に、程よい距離感が保てる場所が気に入っています」と息子夫妻は言います。







1. 光が十分入るリビング 2. ゆったりとした通り  
3. ゆくもりあるデッキ 4. 二世帯をつなぐ階段



## 子育て世代にふさわしい二世帯

一方、2階の子世帯は、デッキテラスを囲むようにLDKや子ども室、寝室を配しており、子育て世代にふさわしい伸び伸びとした間取りとなっています。さらに、親世帯と同様に風水を考慮したり、特注のダイニングテーブル、シュククロクの奥に書齋を確保するなど、こだわりを形にしています。庭には、亡きお父さまが大好きだったサガリバナをシンボルツリーとして植え直しました。「敷地の隅々まで有効活用できたことが一番うれしいですね」と話すCさんですが、新しい住まいを一番喜んでいるのは、ほかならぬ天国のお父さまかもしれません。